

第4回セイカ子ども大学

「自分だけの千代紙をつくろう！」実施報告書

- 【主催】 SEIKAクリエイターズインキュベーション推進拠点コンソーシアム
<精華町・京都精華大学・けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク（K-Scan）>
- 【後援】 精華町教育委員会
- 【開催日時】 2019年12月21日（土曜日） 午後1時30分～4時30分
- 【開催場所】 SEIKAクリエイターズインキュベーションセンター
- 【内容】 木のパーツを組み合わせてデザインを考え、オリジナルの模様をつくり、和紙に型を写し取って、色をつけ、自分だけの千代紙をつくる。
「科学」「デザイン」「アート」を総合的に学ぶ。
- 【講師】 京都精華大学デザイン学部講師 野嶋 革（のじま あらた）
- 【参加対象】 学研都市に居住する小学1～6年生の子どもとその保護者
- 【参加者】 23組
- 【参加料】 1,000円
- 【広報】 チラシ配布：精華町公立小学校（1～6年生）
チラシ配架：精華町役場・図書館・アピタ精華町コーナー
精華町ホームページ
- 【作業手順】 ①ボードに○△◇のパーツを並べ、自分の気に入ったデザインになれば、
パーツの両面テープをはがして貼り、版のデザインを作る。
②好きな色の和紙の両面に糊をつけ、デザインしたボードに貼り付け、
ローラーや刷毛を使って型がしっかり浮き出るように押さえる。
③上からドライヤーをかけて乾かす。
④浮き出た部分にたんぽでいねいに絵の具をつけ、再度ドライヤーで
乾かし、板から紙をはがして裏からアイロンをかけてしわを伸ばす。
⑤正方形にカットして千代紙にする。
⑥できた千代紙で、ぽち袋に折る。

*版を作るのに、凹部分を彫刻等で掘らずに、凸部分を貼って作るので、小さい子どもでも怪我なく、安全に版画体験ができる。

【参加者感想】

[こども]

- ・先生方がていねいに優しく話してくれてとても良かった。説明がわかりやすかった。
- ・自由に模様が作れて楽しかった。
- ・何枚も作れた。
- ・「こんにゃく接着剤」で和紙をつけるところがとても楽しかった。
- ・千代紙の作り方がわかった。
- ・違う模様も作りたかった。もっと作りたかった。
- ・木で千代紙が作れてふしぎだった。
- ・ぽんぽん絵の具をつけるのが楽しかった。
- ・簡単な模様にしても大変だったけれど、できた時は嬉しくなった。
- ・休憩できなかつた。寒かつた。手がべとべとした。コツがつかめなかつた。でも楽しかつた。

[保護者]

- ・ひとつひとつの作業がていねいで、千代紙の作り方について理解が深まった。
- ・工程がたくさんあつて、達成感があつた。
- ・先生の説明がていねいで、ゆっくり話されたのでわかりやすかつた。
- ・普段できない体験をさせていただき、楽しく取り組めた。
- ・使うのがもったいないほど、楽しく作っている姿を見られて、嬉しくかつた。折り紙コーナーに行ったら、次から千代紙をよく見てみようと思う。
- ・○△◇だけで個性的なデザインが作れたのがおもしろかつた。
- ・デザインから色の組合せまで一人ひとり全く違うオリジナルの物が作れて楽しかつた。
- ・繰り返し色を塗ることで、上達が見られた。本人もすすんで次の作品を作り続けた。
- ・子どもが大人の助け無しに作業できる内容でよかつた。
- ・子ども達が熱心に取り組めてよかつた。完成度が高かつた。
- ・乾かす作業で待ち時間が少しあつた。
- ・色付けが意外とうまくいかず、まわりがよごれてしまう感じが残念だつた。
- ・作品見本があれば、もっとイメージが膨らんだと思う。
- ・気軽に日本の伝統文化に触れることができよかつた。
- ・講師の先生方、長時間ありがとうございました。

【今後希望する講座】

- ・絵の具を使った企画
- ・消しゴムはんこ
- ・貯金箱
- ・妖怪講座
- ・編み物
- ・お料理
- ・天体望遠鏡作り
- ・粘土
- ・ロボット
- ・はんだ等を使った電気回路の組み立て
- ・ハーバリウム
- ・漢字講座
- ・京都の伝統的なものを学ぶ

【会場風景】

＜「科学のまちの子どもたち」プロジェクト＞

